

中央公民館・勤青ホームだより

令和2年4月1日発行



長瀬町中央公民館・長瀬町勤労青少年ホーム

4月号

長瀬町大字野上下郷 3312 TEL:66-1800 FAX:66-1564 Email:koumin-k@town.nagatoro.saitama.jp



団体名: 陶芸教室 さくら

活動日: 月2回 月曜日 午前10時から正午まで

場 所: 陶芸室

連絡先: 中村博子 66-2966

会 費: 材料代をその都度、実費徴収しています。

その他: 朝ドラで話題となった陶芸です。お皿やお茶碗などを作っています。自作の器やカップなどを使うとお料理のお味もアップします。楽しい仲間と作品を作りませんか！



中央公民館の貸出し業務の案内

現在、新型コロナウイルス感染拡大予防対策の一環として、施設の貸出制限や臨時休館の措置がとられています。最近の感染状況などを考慮し、引き続き同様の措置をとることになりました。

- ※ 休館となるのは、平日の17時00分から21時00分。土曜日、日曜日、祝日の全日。なお、体育館は、全日貸出しすることができません。
- ※ 図書の貸出しは行っています。ただし、図書室の閲覧席の利用はできません。
- ※ 期間は4月末までの予定ですが、今後新たな方針等が決まりましたら、皆様方にお知らせします。

新刊図書のご案内

「ノースライト」(横山 秀夫/新潮社)



一級建築士の青瀬は、信濃追分へ車を走らせていた。望まれて設計した新築の家。施主の一家も新しい自宅を前に、あんなに喜んでいたのに。一家はどこへ消えたのか。空虚な家になぜ一脚の椅子だけが残されていたのか。横山ミステリー史上最も美しい謎。熱く込み上げる感動。

「線は、僕を描く」(砥上 裕将/講談社)

両親を交通事故で失い、喪失感の中にいた大学生の青山は、アルバイト先の展示会場で水墨画の巨匠と出会う。水墨画という「線」の芸術が、深い悲しみの中に生きる「僕」を救う。



「ムゲンのi 上」(知念 実希人/双葉社)



眠りから醒めない謎の病気・イレスの患者を抱えた神経内科医の愛衣は、魂の救済をするしかないを知る。霊能力者ユタである祖母から受け継いだ力で、魂の救済に挑む。2020年本屋大賞ノミネート作品。

「ムゲンのi 下」(知念 実希人/双葉社)

次々に魂の救済を成功させる愛衣は、患者のトラウマが頻発する猟奇殺人と関係があることに気付く。その事件は23年前の少年Xによる通り魔殺人とも繋がっていて…。



「アンパンマンとカレンのもり」(やなせ たかし/フレーベル館)



傷ついた蝶のカレンを助けたアンパンマンたち。どうやら森で大変なことが起こっているらしく、アンパンマンと名犬チーズが急いで向かう。そこにいたのは、ばいきんまん! みつばちのハニーも登場し、美しい森のために戦う。

図書の貸出冊数が変わります!

4月1日より、一度に借りることのできる冊数が、今までの一人3冊から5冊に変更となります。

なお、貸出期間は、今までと同じで貸出日を含めて15日間です。

この機会に、本にふれてみましょう。

当館にご希望の本がない場合は、「図書館相互貸借」の制度を利用し、県立図書館などで所蔵している本を借りることができます。

公民館窓口で「図書リクエスト申込書」によりお申し込みください。

(手元に届くまでに時間がかかる場合がありますので、ご了承ください。)

編集後記

暖かくなってきました。第二小学校の校庭の「桜」は3月11日には開花していました。例年に比べると半月ぐらいは早いのではないのでしょうか。この暖かさに誘われて、気軽に公民館へお越しください。皆さまからの便利が頼りです。

4月の休館日のお知らせ

4月30日(木) 月末休館日

